

榎原・天神遺跡第3地点

榎原・天神遺跡は南アルプス市榎原に位置し、御勅使川扇状地扇端部に立地しています。市道八田13号・161号線の拡幅工事に伴い発掘調査が実施されました。調査の結果、平安時代の溝跡や住居跡、中世の溝跡や土坑墓などが発見されました。調査された遺構は住居跡1軒に対し溝跡の総計は55条と対照的です。とりわけ南北に走る現在の道路とほぼ同じ方向に走る溝は29条発見され、区画溝や道路跡と考えられます。現道は小字「天神」と「天王」の境となっており、古代から境界としての意識が受け継がれてきた可能性が高いです。調査地点の西側には「八田牧」に関連する集落と考えられている百々遺跡が立地しており、本遺跡も牧あるいはその前身のものに関連する遺跡と推測できます。(南アルプス市教育委員会)